

P T A 会 報

第 7 2 2 号

令和 8 年 9 月 3 0 日 P T A 事務局発行

前期 P T A 活動を振り返って



P T A 会長 大山 奈央子

日頃より、函館西高等学校 P T A 活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今年度、P T A 会長という大役を務めさせていただくこととなり、早いもので前期を振り返る時期となりました。慣れないことも多い中でのスタートでしたが、役員・委員の皆様、保護者の皆様、先生方に支えていただきながら、さまざまな活動を進めることができました。

今年度の P T A 活動は、4 月 8 日の入学式・P T A 入会式、第 1 回四役会からスタートしました。4 月 2 4 日には P T A・体育文化後援会総会、5 月 8 日には合同委員会、年次委員会、専門委員会を開催し、今年度の活動について話し合いを重ねてきました。また、5 月 1 8 日の高 P 連道南支部役員会・総会には副会長の米谷さん、6 月 6 日・7 日に岩見沢で開催された第 7 4 回北海道高等学校 P T A 連合会空知大会には副会長の渡部さん、会計の北野さんに出席していただきました。他校の P T A との交流や情報交換も、今後の活動につながる大切な機会になったことと思います。

私自身、前期の活動で特に印象に残っているものの一つが、6 月 9 日に実施された「令和 8 年度 P T A 函館市内上級学校キャンパスバスツアー」です。当日は三校を巡り、普段なかなか入ることのできない校内を見学し、それぞれの学校の特色や取り組みについて直接説明を聞くことができました。実際に校内を見ながらお話を伺うと、それぞれに魅力があり、「自分の子どもも通わせてみたい」と思うほどでした。学校の雰囲気を感じることができ、とても楽しく貴重な経験となりました。

そして、前期の中でも特に思い出深かったのが学校祭「つゝじヶ丘祭」です。5 月 2 8 日の臨時 P T A 役員会から企画の打ち合わせを始め、6 月 2 6 日の四役会では本番に向けた準備を進めました。役員の皆様は本当に仕事が早く、積極的に意見を出し合い、P T A 企画の内容もあつという間に決まりました。とてもスムーズに準備を進めることができ、皆さんの協力があつてこそ P T A 活動だと改めて感じました。学校祭 1 日目の合唱では、生徒の皆さんが一生懸命に歌う姿

に感動しました。クラスのみんなで練習を重ね、一つのものを作り上げてきたことが伝わり、とても心に残る時間となりました。2 日目はパレードに帯同しました。昨年は雨のため実施できなかったのが残念に思っていました。今年は無事に開催でき、本当に良かったと思います。生徒の皆さんの仮装は工夫が凝らされ、山車も細かなところまでしっかりと作り込まれていて、とても素敵でした。楽しそうな姿から、この日のために仲間と準備してきたことが伝わってきました。3 日目の一般公開では、P T A による模擬店「お休み処」を実施しました。委員の皆さんも積極的にお手伝いしてくださり、とても心強かったです。模擬店は予想を上回る売れ行きで、予定より早く完売するという、うれしい誤算もありました。多くの皆様に足を運んでいただき、本当にありがとうございました。また、今年は屋上開放も行われました。当日はお天気にも恵まれ、とても気持ち良く、わずか 3 0 分という短い時間でしたが、想像以上に好評でした。普段は入ることのできない場所でもあり、学校祭ならではの特別な時間になったのではないのでしょうか。体育館での有志発表も、どのグループも個性たつぷりで、かわいらしく、そしてかつよく、生徒の皆さんが生きて生きと発表する姿を楽しく見ることができました。三日間を通して、生徒の皆さんが自分たちで考え、仲間と協力し、一つの学校祭を作り上げていく力を感じました。高校生活の三年間は長いようであつという間です。学校祭で仲間と笑ったり、一生懸命になったりした経験も、きつと大切な思い出になることと思います。

私たち保護者にとつても、P T A 活動を通して学校へ足を運ぶことで、家庭では見ることのできない子どもたちの姿や成長に触れられることを、とてもうれしく感じています。P T A 活動は、一部の方だけで行うものではなく、それぞれが無理のない範囲で参加し、子どもたちの学校生活を応援していくものだと思います。「できる人が、できるときに、できることを。」そんな気持ちで、これからも皆さんと一緒に、楽しく、無理なく、子どもたちのためになる P T A 活動を進めていければと思います。

最後になりますが、前期の活動にご協力いただきました役員・委員の皆様、保護者の皆様、そして日頃から生徒たちを温かく見守り、ご指導くださっている先生方に心より感謝申し上げます。後期も子どもたちの成長を楽しみにしながら、皆様と一緒に活動していきたいと思ひます。引き続き、函館西高等学校 P T A 活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

資質・能力の育成を目指して



校長 花松 均

将来の予測が困難な激動の時代を迎えるとともに、急速に技術革新が進展する中、多様な他者と協働しながら未知の課題に向き合い、それを乗り越えていく資質・能力を身に付けることが、これからの生徒には求められています。学校教育目標を具現化する中で、生徒の資質・能力を正確に測定することが難しいとされていましたが、IGS株式会社が提供し、AIを活用して個人の資質・能力を正確に評価するアセスメント・ツール「Ai GROW」を受検することで、これからの社会で求められる資質・能力がどの程度備わっているのかを評価することができるようになりました。本校でも、今年度より本格的に実施することとなり、その検査結果についてお伝えします。

1 スクール・ポリシー（育成を目指す資質・能力）の状況

本校の育成を目指す資質・能力は次のとおりです。

- 自己開示力：自分を知り、学ぼうとすることが出来る
- 課題発見力：疑問を持ち、課題を見いだすことができる
- 実行計画力：先を見通して、物事を進めることができる
- 思考力：要点をつかみ、多面的多角的に考えることができる
- 発信力：状況に応じて、わかりやすく伝えることができる

〈検査結果〉

本校の育成を目指す資質・能力（育てたい5つの力）については、本校生徒の平均スコアが全国高校生の平均スコアを上回っています。特に、「自己開示力」と「課題発見力」は全学年をおして高い水準を維持しつつ、学年が上がるに連れて順調に伸びています。

一方で、相対的にスコアが低く推移しているのが、「発信力」です。特に、1年次生から2年次生にかけての伸び

がゆるやかな状況にあり、「発信力」の早期からの育成強化が必要になってきます。1・2年次生の段階から、グループワークなどで意図的にリーダー役をローテーションしたり、地域や外部に向けて自分の考えをプレゼンテーションする機会を増やしたりする必要があるとの指摘がありました。次に、「実行計画力」に係わり、答えのないオープンエンドな探究課題や、想定通りに進まない外部との協働プロジェクトなど、臨機応変に計画を修正する力などを育むことが求められています。

2 全国の高校との平均値比較

本校では、スクール・ポリシー及び生徒の学校生活を支える状態や学びに向き合う姿勢の変化を定量的に把握するために、14のコンピテンシーを用いて計測を行っています。それらを全国との平均値比較した結果についてお伝えします。

〈検査結果〉

本校の生徒の平均スコアは全国の高校生の平均スコアを上回っている状況にあります。本校の生徒は、困難な状況やストレスの掛かる場面においても自らの感情をコントロールし、それを自らの成長の糧と捉える前向きな姿勢が強く育まれています。自らの課題を見つけ出し、決断して実行に移す主体的な行動力も優れているようです。

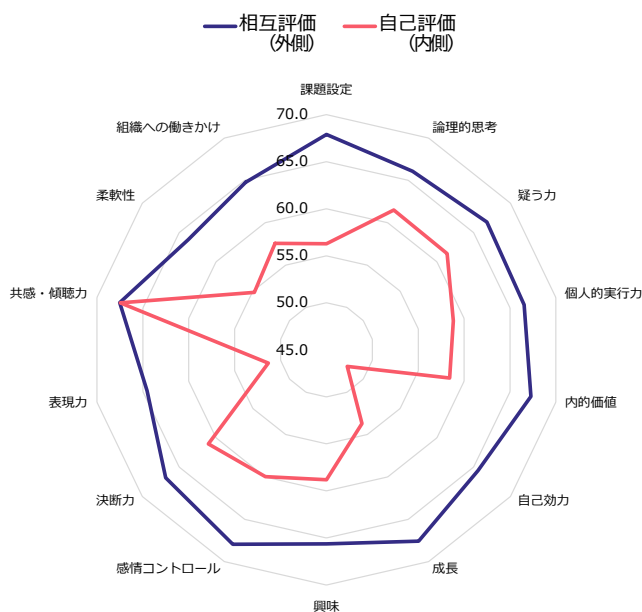
一方で、他者や集団に対しての働きかけや他者を巻き込んでいく能力については課題があります。

3 自己評価と相互評価の乖離

〈検査結果〉

「共感・傾聴」を除くすべてのコンピテンシーで、生徒の自己評価が相互評価を大きく下回る「過小評価」の傾向がはっきりと表れています。特に、「自己効力（何らかの課題に直面しても、自分ならできると自信を持って物事を進めることのできる能力）」、「成長（どんな課題に対しても、自分の成長につながると信じて積極的に取り組むことのできる能力）」、「表現力（自分の考えや思いはもちろん、どんなことでも相手が理解しやすいように伝えることができる能力）」「課題設定（状況を的確に把握しながら、何をすべきか、どうやって成し遂げるべきかを自ら考え出せる能力）」に大きな乖離が見られます。

実際の能力と自己評価の平均値比較 - 計測14コンピテンシー



このことは、生徒自身が自分の客観的な強みを「自分には備わっていない」と思い込み、著しく自信を欠けている状態にあります。自分にはできないと萎縮しまっていることは、今後の進路選択の大きな阻害要素になってきます。これらの検査結果から分かるように、生徒はすでに社会に通用する高いポテンシャルを有しているにもかかわらず、生徒自身がそれに気づいていないという本質的な課題が明白になりました。これらのデータから分かるように、データを基に自信を持たせることが急務と考えます。家庭においても、生徒の強みや良い部分を褒めるなどして、生徒自身の過小評価に気づかせ、確かな自己肯定感と自信を獲得することができるようにご協力をお願いいたします。

北海道PTA連合会大会 空知大会に参加して

PTA監査 北野 功



去る6月6・7日の2日間、岩見沢市での空知大会に参加してきました。

1日目は今回の当番校である長沼高校出身のタレントで構成作家の鈴井貴之氏による講演を聴講しました。「枠にとられない発想の大切さ」や「大人の行動が未来を作る」という内容で、学生時代から現在に至るまでの経験を、ユーモアあり、爆笑もありながら、新しいアイデアを生み出すためには既存の枠組みにとらわれず、異なる視点を持つことが重要である、と締めくくりました。

2日目は岩見沢東高校での分科会で「思春期の子どもとどう付き合うか」をテーマに、「大人の一人として、若者たちの成長に役立つ理解と支援とは？」「親としてできることは（やらない方がいいことは）」について、道内各地のPTAの方々と先生たちとグループディスカッションを行いました。同じ悩みに共感したり、新しい気づきや発見があり、大変貴重な時間となりました。今回の学びをこれからのPTA活動に生かし、子どもたちと深く関わっていきたいと思います。この度は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

『子どもと向き合う』

PTA進路副委員長 三浦 剛

令和8年6月4日、今年度第1回目の進路保護者説明会が函館サームン・まるなまホール（函館市民会館）で開催されました。

今回の説明会で一番感じたのは、『子どもと向き合う』ことの重要性でした。

子どもが進む道（進学先だけではなく、将来の職業）、現在の学力・内申、親の希望、家庭の経済力など、全てにおいて一方向（子ども→親／親→子ども）ではなく双方向（子ども⇄親）で考えや情報を共有することが『子どもと向き合う』ことなのかと感じました。また全てにおいて考えがある必要はなく、「わからない」や「こたわらない」、「任せる」も含めて今一度『子どもと向き合う』ことで親子共通の方向性を決め、学校に相談しながら納得のいく進路選択を行いたいと思える説明会でした。

上級学校見学ツアーに参加して

PTA3年次 小出 佳子

①公立はこだて未来大学②市立函館病院高等看護学院③函館大学を訪問してきました。

未来大学はとにかく施設が素晴らしく感動しました。1階から5階まで吹き抜けのスタジオと呼ばれるオープンスペースや教員室などの個室の壁も全てガラスなので、教員も学生の様子もお互いに見える構造でした。市看は実習中の様子も見られました。入学してからの事や大学卒との違い等色々なお話を聞きました。函館大学は

西高卒の先輩が施設を案内してくれました。探究の勉強で台湾に行くそうです。これから社会人になった際には即戦力になりそうなくらいパワフルな先輩でした。

交通安全街頭指導に参加して

PTA生活委員長 中野 幸恵子

7月14日（火）西高生の下校時間に合わせて、本校前や八幡坂バス通り、SEC前、日和坂3カ所、末広電停前の計7カ所を先生と保護者で見守りました。

わたしは八幡坂バス通りに立ちました。生徒のみなさんは、笑顔で明るくあいさつをしてくれる子どもたちで、わたしも少し緊張していたのがほぐれ穏やかな気持ちになりました。感じました。バス通りは横断歩道に信号は無く、渡る時は歩行者優先にもかかわらず、運転側は勢いよくスピードを出して通過する車が多く見られました。また、西部地区は観光客で人も車も多く、急に出てきて気づくのが遅くなり交通事故につながることも考えられます。

悲しい事故にならないように、常に自分の命は、自分で守れるように。登下校時は十分に注意を払って、責任を持った行動をしていただきたいと強く願っています。

学校祭PTA企画に参加して

PTA副会長 米谷 郁子

今年も学校祭のPTA企画に参加し、私自身もとても楽しむことができました。今年は屋上開放の許可をいただけて、（生徒会の皆さまありがた



うございました！）当日は生徒の皆さんや来校いただいた皆さまにとっても楽しんで頂けたと思います。私たち保護者もすてきな時間を過ごすことができました。お休み処では、学校祭を楽しみ皆様にゆつくりしていただけたら、ほっとしていただける場所になったのではないかなと思います。たくさんの方に立ち寄っていただき、学校祭という行事を通して、保護者同士の親睦を深めることもできました。



今年で最後になってしまいましたが、私たちが保護者も生徒に負けないくらい楽しい時間を過ごさせて頂きました。来年以降も、ぜひ、屋上開放を続けていただいて、皆さまの笑顔がいっぱいの学校祭になったらいいなと願っております。



部活動 全道・全国大会出場（前期）

空手道部	第 51 回北海道高等学校空手道選手権大会 6 月 10 日～12 日 栗林商会アリーナ（室蘭市） 女子個人形 坪川紅愛 女子個人組手 坪川紅愛（3 位） 第 80 回国民スポーツ大会北海道ブロック予選会 6 月 27 日 北海きたえーる（札幌市） 少年女子個人組手 坪川紅愛（3 位）
陸上競技部	第 79 回北海道高等学校陸上競技選手権大会 6 月 16 日～19 日 帯広の森陸上競技場（帯広市） （男子）800m 三浦蒼一（7 組 5 位） 1500m 阿部暖（2 組 13 位） 1500m 能正愛斗（4 組 12 位） 5000m 阿部暖（1 組 9 位） 4X100mR 池田佑哉 沖崎大成 上村龍馬 柳原正汰（1 組 8 位） 4X400mR 三浦蒼一 能正愛斗 阿部暖 池田佑哉（6 組 8 位） 走高跳 柳原正汰 出場 三段跳 上村龍馬（1 組 23 位） （女子）800m 松谷果南（1 組 7 位） 100mH 木村綾莉（2 組 6 位） 400mH 木村綾莉（4 組 3 位） 4X100mR 西嶋凜音 木村綾莉 佐々木杏菜 服部瑠白（2 組 8 位） 4X400mR 松谷果南 西嶋凜音 木村綾莉 佐々木杏菜（6 組 7 位） 走高跳 決勝 田村月乃（2 組 7 位） やり投 角田怜那 出場 第 99 回北海道陸上競技選手権大会 7 月 18 日～19 日 札幌厚別公園陸上競技場（札幌市） 男子 800m 予選 三浦蒼一（8 位） 女子走高跳 決勝 田村月乃（5 位） 令和 8 年度国民スポーツ大会陸上競技大会北海道選手選考会 8 月 15 日～16 日 日鋼室蘭スポーツパーク（室蘭市） 少年 A 女子 300mH 決勝 木村綾莉（7 位） 第 42 回北海道高等学校新人陸上競技大会 9 月 16 日～18 日（函館市） 出場
男子バレーボール部	令和 8 年度北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会 6 月 9 日～12 日 函館サーモンまるなまアリーナ 予選リーグ出場 0-2（とわの森） 0-2（恵庭南）
水泳部	第 79 回北海道高等学校選手権水泳競技（競泳）大会兼第 94 回日本高等学校選手権水泳競技（競泳）大会北海道予選 7 月 10 日～12 日 NOPPORO ヤシマ商会スポーツパーク（江別市） 村田紘華 100m 背泳ぎ（予選 9 位）200m 背泳ぎ（決勝 4 位入賞） 佐藤柚乃 50m 自由形（予選 29 位）100m バタフライ（予選 10 位）
卓球部	第 80 回国民スポーツ大会卓球競技北海道予選会 6 月 5 日～7 日 リクルートスタッフィング リック&スー旭川体育館 女子シングルス 角杏樹（3 回戦進出） 2026 年北海道卓球選手権大会（ジュニアの部） 9 月 18 日 北ガスアリーナ札幌 46 女子シングルス 角杏樹 出場
テニス部	第 80 回国民スポーツ大会テニス競技北海道予選 7 月 4 日～5 日 稲積公園テニスコート（札幌市） 少年男子・女子の部 女子シングルス 田中美空 出場 2026 全日本ジュニアテニス選手権大会 7 月 11 日～22 日 平岸公園庭球場（札幌市） 男子シングルス 小柳司 男子ダブルス 山田剣真・小柳司 出場
放送局	第 73 回NHK杯全国高校放送コンテスト北海道大会 6 月 16 日～19 日 千歳市民文化センター 朗読部門 佐藤翠月（奨励賞） ラジオドキュメント部門（奨励賞） 研究発表部門（奨励賞）
文芸部	第 50 回全国高等学校総合文化祭 2026 あきた総文祭 2026 7 月 30 日～8 月 1 日 アトリオン（秋田総合生活文化会館） 文芸部門 短歌分科会 池ノ上虎汰郎 参加
美術部	第 60 回全道高等学校美術展・研究大会 10 月 8 日～9 日 観光国際交流センター（釧路市） 3 作品出展 13 名出場
書道部	第 27 回高校生国際美術展 8 月 5 日～16 日 国立新美術館（東京都） 【書の部】佳作 小澤くらら 濱利光 第 50 回全国高等学校総合文化祭 2026 あきた総文祭 2026 7 月 27 日～7 月 29 日 CAN★アリーナあきた 文化庁長官賞 渡邊茉莉花 第 60 回全道高等学校書道展・研究大会（当番校） 10 月 21 日～23 日 函館サーモンまるなまアリーナ 部員全員出場
写真部	第 50 回全道高等学校写真展・研究大会 10 月 21 日～23 日 函館サーモンまるなまホール 後藤遙祈 三好乃愛 寺澤惟可
図書局	第 48 回全道高等学校図書研究大会 10 月 8 日～9 日 北見市 遠藤駿 青木穂香 村上凜夏
ボードゲーム部	第 62 回全道高等学校将棋選手権大会兼第 62 回全国高等学校将棋選手権大会北海道大会 5 月 28 日～29 日 大雪クリスタルホール（旭川市） 男子団体予選 14 位 女子団体決勝 3 位（坂本芽愛・奥寺真唯・中板花音） 男子個人戦 野崎優輔（47 位） 第 26 回全国高等学校将棋竜王戦北海道予選 6 月 21 日 北海道将棋会館（札幌市） 個人戦 長澤一世（5 位入賞） 笠井斗磨（33 位）

※前期で出場が決まり、これから出場するものも掲載しています。 ※下線表記は全国大会です。



ボランティア清掃（昨年度）



手作りパン教室（昨年度）

前期はPTA各種活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。後期もよろしく願っています。

3 月 25 日（木）
 PTA会計監査
 第 6 回 PTA 四役会
 令和 8 年度卒業証書授与式
 PTA 四役出席
 3 月 1 日（月）
 PTA 会報第 723 号発行
 2 月 26 日（金）
 （年次委員会・専門委員会）
 第 2 回 PTA 合同委員会
 2 月 19 日（金）
 進路就学資金保護者説明会
 2 月 10 日（水）
 第 5 回 PTA 四役会
 1 月 22 日（金）
 PTA 研修講演会
 12 月（期日未定）
 PTA 研修講演会
 （主管校）
 11 月 9 日（月）
 高 P 連道南支部研修会
 ※参加申込 10 月 1 日まで
 「手作りパン体験教室」
 PTA 研修会
 10 月 20 日（火）
 PTA 会報第 722 号発行
 9 月 30 日（水）
 PTA ボランティア清掃
 9 月 29 日（火）
 PTA ボランティア清掃

〈後期の主な PTA 活動〉